

趣 旨

- 本格的な人口減少・高齢化社会に対応するため、地域包括ケアシステムの構築やコンパクトシティ・地方創生の推進を図ることは今後の社会にとって極めて重要な課題。
- 地域包括ケアシステムの構築等にあたっては、関係者連携のもと、住まい・施設・介護等に関して総合的に施策を展開することが不可欠。
- こうしたことから、地域包括ケアシステムの構築等に向け、サービス付き高齢者向け住宅の質の向上や適正立地など、時代のニーズに即応した施策の徹底した見直しについて検討するため、関係者の横断的な連携のもと、本検討会を設置する。

検討内容

- 市町村による高齢者居住安定確保計画の策定や補助制度の見直しなど、サービス付き高齢者向け住宅の質の向上や適正立地に係る誘導方策等

本検討会の成果については、「次期住生活基本計画（計画期間H28～H37）」や予算等の制度改正に反映予定